

# でんち

一般電池工業会  
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011  
東京都港区芝公園三丁目5番8号  
機械振興会館内  
電話 (03) 3434-0261 (代)  
ホームページ <http://www.baj.or.jp/>  
ご意見・お問い合わせ <http://www.baj.or.jp/contact/>  
発行人 淡路谷隆久

平成28年11月1日

## 平成28年度 第1回二次電池部会を開催

平成28年10月21日、辰巳部会長（株式会社 GSユアサ）を議長に、平成28年度第1回二次電池部会を開催した。会議に先立ち「BAJ競争法コンプライアンスルール」に則り議事運営をする宣言がなされたのち、部会長及び専務理事より挨拶があり、引き続き各委員会の代表者より活動報告が行われた。



### 1. 辰巳部会長挨拶

ここ最近の話題で豊洲問題など「環境」がキーワードになっている。また、Li電池の発火事件等々、安全・安心面で我々としても見過ごしてはならない問題がある。関係する各委員会におかれては、特に慎重に審議願いたい。



## 2. 淡路谷専務理事挨拶

SONYさんが電池事業を譲渡されるというニュースがあったが、PSBさんも鉛電池の事業を譲渡された。

BAJの課題としては、メンバーとしての統計の問題などあるが、いずれにしてもパナソニックさんとGSユアサ エナジーさんが新体制になり、BAJの中でどうされるかの立ち位置を考えていただくようになる。これからお話させていただくようになると考えている。



## 3. 共通総合委員会及び各委員会の活動報告と活動計画

### 1) 広報総合委員会

報告者：大道委員長（GY）

- ・PRキャンペーン等で「電池月間」や「みらいのでんちアイデアコンテスト」のポスターを作成し配布した。
- ・「手作り乾電池教室」は全国37ヶ所から応募あり、29ヶ所で実施済み。
- ・冊子「WE LOVE DENCHI」改訂版を6/末発行、乳幼児の電池誤飲注意のページを追加した。
- ・イベント関係で、でんちフェスタは8/27鹿児島で実施、11/12に科学未来館で開催する予定。
- ・下期計画の内、電池月間キャンペーンのPR広告を朝日新聞で行い、HPにはキャンペーンクイズを掲載する。

### 2) 国際環境規制総合委員会

報告者：事務局 向井部長（代理）

- ・欧州ELV指令は鉛など適用除外リストを定期的

に見直す、4/18欧州委員会は鉛使用は現段階では避けられない旨の報告書を示した。次回は3～5年で再見直しがされる。

- ・北米地区 OSHAのレター「Liイオンはarticlesにはあたらない」との見解をだし、SDSやラベル提示対象になるとの見解が出されたが、米国以外の関連団体連名で反論の意見書を6/30付で提出した。
- ・中国版RoHSやエクアドルの技術規格更新の情報が報告された。
- ・9月のICBRの国際会議や10月のTWGへの委員派遣計画報告された。
- ・「世界の電池環境規制の状況」を改訂し、書籍版を6月発行。また電子追補版を来年5月発行の予定。

### 3) 自動車用電池委員会

報告者：池ノ谷委員長（HC）

- ・当委員会での2016年度活動休会の理由と臨機対応のため委員会組織は存続させる旨の報告があった。

### 4) 資材委員会

報告者：佐野委員長（FB）

- ・委員会として定期開催はしていない。当委員及びBAJ・BAJ各委員会からの要求に応じ開催する。
- ・資材分科会は活動している。共用金型更新の決定や供給不安部品の情報共有・調達など。
- ・分科会は次回来年1/23に開催するが、そこで臨時委員会も合同開催し委員長の改選をする予定。

### 5) 自動車用鉛電池リサイクル委員会

報告者：尾崎委員長（GY）

- ・新自主スキームの運用状況、SBRA排出事業者登録状況、リサイクル実績等と上期の活動が報告された。
- ・登録件数は9/Eで8,317件（10万店の1%程度）、稼働率は60%で4割は回収依頼をしたことがない。
- ・多くの登録店は専ら有価市場～韓国へ排出し、SBRAは世界のセーフティネットとしての役割。

- ・有価取引が圧倒的に優勢な中、SBRAの扱ひ量は、2016年度9,000t程度で前年実績を約10%下回る予定。
- ・上期は3回開催。製・精錬業者とのリサイクル連絡会は今年から年1回で6/29に開催。
- ・下期は本年度も、SBRAとして委託先業者（解体7社・収集42拠点）を対象に監査を実施する。
- ・韓国の二次精練11社が不正処理で摘発されたが各社操業を維持し、韓国への流出減は見られない。

## 6) 技術委員会

### 報告者：蛭田委員長 (FB)

- ・主な活動テーマ（進捗～今後対応）と重要テーマ3件の報告事項について説明。
- ・IEC 60095-1,6,7関係の進捗説明。日本の意見が反映された内容。12/7のTC21 WG2会議で最終審議。今後JISに反映。
- ・識別色について、5/28にパリでWG会議。その後カラーor白黒の意見投票となり、11/2に東京で会議が予定されている。
- ・JIS D5301の改訂はWGを設置。IEC 60095-1を一般要求、-2を形状とする予定。また適時自技会と協議し改正を進める。
- ・JIS C8704の改訂はWGを設置。IEC整合部分と旧JISのWスタンダードの解消を図る。2018年の発行を目標。
- ・SBAは10件の審議案件中、S0804、G0806が完了。標準化は、S0301（新規）とG0302が終了、残りは改正審議中である。
- ・重要テーマのうち、IECで現在60095-6の制定を進めているが、欧州勢がSBA S0101をベースとする規格への同調を覆しEN規格内容の採用を提案してきたが、反論提案し了解された。
- ・電池種類識別表示については、①対象電池、②マーキングのOptionn、③カラーのOptiongaが審議の論点。
- ・二次電池の「形」「型」の名称使用判断は委員会としてガイドラインを発行し、その後規格化を図る。

## 7) PL委員会

### 報告者：植中委員長 (GY)

- ・爆発発生総件数は2010年度以降減少も、バス・

トラック・タクシーの占有率が約40%。原因は「液切れ」が依然多い。

- ・関係官庁（国交省）・団体（全日本トラック協会、東京都トラック協会）への安全啓発の説明・活動などの説明があった。
- ・9月に高速のSAなど3ヶ所で「秋の交通安全イベント」に参加し、一般ユーザーに「バッテリー液の点検」を啓発した。

## 8) 産電リサイクル委員会

### 報告者：廣川委員長 (PS)

- ・広域認定の変更業務迅速化のため、広域認定分科会を中心に活動し、認定の維持を図った。
- ・届出・申請作業効率化を図るため、マニュアルを作成した。
- ・昨年改訂したPRリーフレットを蓄電池設備資格者講習会等で配布・説明を実施した。
- ・各社営業部門の広域認定の認識は高まったが、回収量の増加が実現していないのが今後の課題でPR・啓発を進める。
- ・別表にて、産業用鉛蓄電池の2012～16年度の回収量の推移とVRLAの2013年度以降の回収量について説明された。

## 9) 環境委員会

### 報告者：福島委員長 (FB)

- ・欧州ELV対応で新車メーカーから「2021年以降の適応除外は難しくなる」との情報を得、今後新車メーカーとの連携を強化し、又、技術委員会とも協調して対応する。
- ・OSHAの「Lib及び鉛蓄電池は“Not Article”」との新見解に対し、委員会傘下にSDS WGを新規に立上げた。顧客側がNot Articleと判断した場合やSDS提供要求を想定し、米国版SDSを各社共通版として作成する。また、昨年9月に発行した「鉛蓄電池の製品情報提供に関するガイドライン」の改正も実施していく。各社が対応するためのツールはBAJでは米国用のSDSとPISの双方を用意することで合議した。

# 平成28年度 「自動車点検整備推進運動」に参加

国土交通省、自動車関係30団体で構成する「自動車点検整備推進協議会」が中心となってが主催する「自動車点検整備推進運動」に、電池工業会から二次電池部会（PL委員会&自動車技術サービス分科会）の有志メンバーが参加し、啓発活動を行なった。

電池工業会の有志メンバーが参加したのは、佐野サービスエリア内（9月21日）、赤城高原サービスエリア内（9月24日）、幕張パーキングエリア内（9月27日）の3か所。各会場では、「バッテリー点検」を促す幟（のぼり）をたて、バッテリーの日常点検に関するパンフレットの配布を行なった。



## ◆9/21（水） 佐野SA



◆9/24 (土) 赤城高原SA



◆9/27 (火) 幕張PA



# 平成28年 10月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	7日(金)	国際環境規制総合委員会	地域別規制動向アップデート、プレゼン資料検討、海外出張報告、他。
	12日(水)	第203回 講習実施委員会	大阪府にて開催した蓄電池設備整備資格者講習の修了考査につき、可否を判定。
	14日(金)	統計総合委員会	統計フォームおよび統計項目の見直し、他
	20日(木)	広報総合委員会	でんちフェスタの内容打ち合わせ、電池月間PRキャンペーン、電池の日・バッテリーの日の広告案、他。
二次電池部会	4日(火)	JIS D 5301ワーキンググループ	JIS D 5301改正内容の審議。
	5日(水)	産業用電池リサイクル委員会	広域認定変更申請の状況審議、他。
	7日(金)	技術委員会	JIS改正審議、IEC新規規格審議 他。
	13日(木)	産業用電池技術サービス分科会	労働安全衛生法改正に伴う鉛電池の取扱い対応、蓄電池整備資格者講習テキスト見直し、他。
	14日(金)	充電器分科会	分科会資料-09、-05の改正審議、蓄電池設備整備資格者講習テキストの見直し。
	14日(金)	自動車鉛分科会	JIS D 5301 改正内容の審議 IEC60095 改正、新規の審議。
	17日(月)	用語分科会	SBA S 0402/0406の改正審議、「形・型」の取扱審議、他。
	17日(月)	資材分科会	共用金型の進捗状況、供給困難部材状況、他。
	18日(火)	環境委員会	電池SDS作成内容の審議、他。
	19日(水)	JIS C8704 ワーキンググループ	JIS C8704 改正審議。
	21日(金)	二次電池部会	各委員会からの上期事業報告および下期事業計画、その他審議事項の審議。
	24日(月)	小形鉛分科会	SBA規格検討、他。
	26日(水)	据置鉛分科会+JIS C8704 合同	JIS C8704 改正審議、他。
	二次電池第2部会	4日(火)	大形カスタムワーキンググループ
12日(水)		車載LIBワーキンググループ	非駆動用LIBのIEC規格策定。
13日(木)		法規ワーキンググループ	蓄電池設備整備資格者講習テキスト検討。
14日(金)		リチウム二次分科会	IEC62902(電池種識別表示規格)審議、環境規格の進め方審議、他。
17日(月)		蓄電システムワーキンググループ	建築設備計画基準、建築設備設計基準の検討。
24日(月)		ニカド・ニッケル水素分科会	IEC原案検討、JIS改正検討。
25日(火)		普及促進委員会	蓄電システムの普及促進検討。
25日(火)		LIB安全性技術ワーキンググループ	内部短絡試験に関する対応審議。
26日(水)		据置LIB分科会	JIS改正案の検討。
27日(木)		再資源化委員会	小形充電式電池の識別表示ガイドラインに関する審議。
一次電池部会	3日(月)	臨時 技術委員会	IEC TC35環境規格NP(35/1366/NP)に関する審議。
	4日(火)	規格小委員会	IEC60086シリーズの検討。JIS C 8500、JIS C 8515及びJIS C 8514改正審議、他。
	5日(水)	リチウムコイン二次電池 国際規格ワーキンググループ	IEC61960-4 CD案検討。
	5日(水)	リチウム小委員会	IEC62281及びIEC60086-3検討。リチウム電池輸送規制関係、他。
	6日(木)	環境対応委員会	情報提供に関するBAJ自主ガイドライン検討、他。
	14日(金)	消費者委員会	救急支援物資対応の検討、他。
	21日(金)	器具委員会	電池器具安全確保のための表示に関するガイドラインの改訂について。
	24日(月)	臨時 技術委員会	IEC TC35 環境規格NP(35/1366/NP)に関する審議。
	29日(水)	PL委員会	ホームページの改訂の検討、他。

## 8月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2016年8月）

単位：数量—千個、金額—百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	398,660	64,119	110%	104%	2,941,829	538,978	108%	105%
一次電池計	239,568	8,110	103%	99%	1,767,425	61,552	104%	103%
酸化銀電池	71,207	1,133	92%	84%	510,526	8,652	92%	87%
アルカリ乾電池計	90,361	4,173	108%	109%	621,980	28,022	109%	112%
単 三	47,399	1,830	111%	109%	339,482	13,027	114%	116%
単 四	29,796	1,212	106%	106%	192,480	7,762	107%	112%
その他	13,166	1,131	105%	112%	90,018	7,233	101%	105%
リチウム電池	78,000	2,804	108%	94%	634,919	24,878	109%	101%
二次電池計	159,092	56,009	125%	105%	1,174,404	477,426	116%	105%
鉛電池計	2,322	12,691	104%	102%	19,841	110,188	99%	102%
自動車用	1,769	8,097	104%	100%	14,877	68,411	100%	101%
その他の鉛蓄電池	553	4,594	103%	106%	4,964	41,777	97%	103%
アルカリ蓄電池計	46,462	14,228	108%	114%	348,000	118,778	99%	102%
ニッケル水素	40,299	13,093	115%	116%	303,578	110,427	107%	105%
その他のアルカリ蓄電池	6,163	1,135	77%	94%	44,422	8,351	67%	73%
リチウムイオン蓄電池計	110,308	29,090	134%	102%	806,563	248,460	125%	108%
車載用	56,830	18,016	164%	117%	378,135	147,681	136%	114%
その他	53,478	11,074	112%	83%	428,428	100,779	117%	101%

## 8月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2016年8月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	223,609	37,232	114%	105%	1,701,934	298,593	115%	102%
一次電池計	92,800	2,149	94%	84%	763,837	19,409	106%	96%
マンガン	0	1	14%	38%	2	12	1%	27%
アルカリ	7,865	122	370%	214%	34,035	582	200%	132%
酸化銀	40,483	444	81%	68%	335,142	4,021	95%	85%
リチウム	44,450	1,523	95%	90%	393,772	14,375	112%	102%
空気亜鉛	0	0	—	—	589	7	91%	69%
その他の一次	2	58	4%	35%	297	411	125%	49%
二次電池計	130,809	35,083	133%	107%	938,097	279,184	123%	102%
鉛蓄電池	151	1,051	83%	95%	1,321	8,471	96%	96%
ニカド	3,976	289	69%	58%	24,904	2,083	53%	48%
ニッケル鉄	0	0	0%	0%	0	0	0%	0%
ニッケル水素	14,646	5,666	113%	126%	113,878	43,790	122%	108%
リチウムイオン	103,790	22,107	135%	118%	746,238	179,563	125%	116%
その他の二次	8,247	5,970	322%	74%	51,757	45,276	234%	69%
全電池合計（輸 入）	90,940	10,594	99%	82%	888,282	99,673	105%	100%
一次電池計	84,106	1,385	100%	82%	828,718	13,386	105%	88%
マンガン	9,647	113	90%	78%	111,092	1,156	134%	100%
アルカリボタン	3,051	25	—	—	23,574	195	—	—
アルカリその他	54,409	703	—	—	555,669	7,511	—	—
酸化銀	299	8	141%	131%	1,777	48	84%	77%
リチウム	12,063	436	125%	87%	92,152	3,483	101%	83%
空気亜鉛	4,634	73	108%	79%	44,303	702	124%	96%
その他の一次	3	28	252%	503%	151	290	45%	50%
二次電池計	6,834	9,208	90%	82%	59,564	86,287	100%	102%
鉛蓄電池	608	2,410	114%	96%	4,831	20,661	97%	97%
ニカド	42	126	91%	87%	715	1,138	85%	81%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	1	493%	118%
ニッケル水素	1,571	311	84%	58%	15,458	3,479	107%	87%
リチウムイオン	4,379	5,338	111%	80%	36,164	52,298	111%	109%
その他の二次	235	1,022	19%	73%	2,396	8,710	38%	89%